



<経営理念>

- 一、缶パーツとその関連技術を通じて、缶の社会貢献を全面的に支援しよう
- 一、一人一人の持つすべての能力を、共にベストの形で花開かせよう
- 一、現場で現物を見て現実を把握し、原理原則にのっとって対処しよう
- 一、お客様と我々自身に還元するために、一切のムリ・ムダ・ムラを無くして最大の利益を追求しよう
- 一、国内外を問わず、自らの可能性を追求し、仕事を通じて社会に貢献しよう

4月迄業績	計画	実績	差異	%	昨年比	%	12月迄成り行き	昨年度実績
売上	143,376	141,558	-1,818	98.7%	12,224	109.5%	431,726万円	403,780万円
営業利益	5,039	10,193	5,154	202.3	4,507	179.3	24,002(5.56%)	15,463(3.83%)

<4月度は単月で6,110万円の営業利益/4事業所すべて黒字に>

5月中旬に東京都心で30℃を超える真夏日が観測され、突如の夏到来を感じさせました。その後は一日の寒暖差が激しい日が続いており、体調管理にはくれぐれもご注意くださいと思います。

さて、4月の売上は市況が未だ回復せず計画未達となったものの、営業利益は対計画でプラス2,864万円となり、3月以上に大幅なクリアとなりました。鋼材価格高騰分を販売単価へ価格転嫁してきた効果はもちろんのことですが、4月より社内の仕切り単価改定が実施された影響が大きいようです。(仕切り単価=工場から営業所への事業所間の販売単価)これにより在庫評価が高まり、結果的に粗利が上昇し営業利益に繋がっています。それでも業績数字に間違いは有りませんので、まずは4事業所すべて累計も含めて黒字化に至ったことは喜ばしいことです。この黒字を次月以降も皆で確保していきましょう。

【全社品質目標の達成状況】

安全第一 労災事故0件：4月末で千葉135日、大阪81日、
労災事故ゼロ継続中

品質クレーム：4月度 千葉1件(社外1件)、大阪1件(社外1件)
社外クレームは3月4月で5件と頻発しており注意です。
社内ゼロは継続中。

納期遅れ：なし

コストダウン：4月度 計画433万円 ⇒ 実績423万円(97%)

新規品売上：4月度 計画783万円 ⇒ 実績539万円(68%)

<ハラスメントのない、働きやすい職場をみんなで作りましょう>

当社はハラスメントから皆さんを守るべく就業規則に定めていますが、改めて職場におけるハラスメントの種類を挙げ、今後の予防に繋げていきたいと思っています。

【妊娠・出産・育児休業・介護休業等に関するハラスメント】

職場において行われる上司・同僚からの言動により、妊娠・出産した「女性労働者」や育児・介護休業等を申出・取得した「男女労働者」等の就業環境が害される事

4月単月 (単位:万円)	売上		営業利益		営業利益累計	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績
東京営業所	24,865	22,233	1,104	1,869	4,476	6,534
千葉工場	22,943	20,012	1,468	1,847	-143	84
大阪営業所	14,436	13,670	364	1,354	1,499	3,081
大阪工場	11,322	10,787	310	1,040	-792	494
全社	39,301	35,903	3,246	6,110	5,040	10,193

【セクシュアルハラスメント】

職場において行われる労働者の意に反する性的な言動に対する労働者の対応によりその労働者が労働条件について不利益を受けたり、性的な言動により就業環境が害される事。

【パワーハラスメント】

同じ職場で働く者に対して、職務上の地位や人間関係などの職場内での優位性を背景に、業務の適正な範囲を超えて、精神的・身体的苦痛を与える又は職場環境を悪化させる事。

当社は社員がハラスメントを行った場合、就業規則に基づき厳正に対処します。処分の内容は、①行為の具体的な態様 ②当事者同士の関係 ③被害者の対応 を総合的に判断し決定します。

【相談窓口】

ハラスメントに関する相談窓口担当者は次の者及び部署です。

1人で悩まずにご相談ください。

東京:衛生推進者、千葉:千葉管理課・衛生管理者、
大阪:大阪管理課

※相談には公平に、相談者だけでなく行為者についても、プライバシーを守って対応しますので安心してご相談ください。相談者はもちろん、事実関係の確認に協力した方に対しても不利益な取扱いは行いません。ハラスメントのない、働きやすい職場をみんなで作りましょう!

※ハラスメントに関する詳細の資料を近日皆さんへ配布予定です。

5/26 廣瀨 庄一郎

<人を生かす経営>(10)

【2】相互尊重(3)

(1)天賦の基本的人権(3)

今生生まれてくる意味

憲法で保障されている基本的人権は、この世に生まれてきた私たちが、その可能性を最大限追求できるように、出来る限り「平等に機会を与えよう」と準備されているもの。だとするならば、その与えられた「機会の平等」をどのように行使していくか、が私たち一人一人に問われることとなります。

どんな人生を送りたいのか、どんな自分になりたいのか、この世に生まれてきた意味をどのように体現していくのか。せっかく天賦のものとして与えられている基本的人権をどのように最大限有効に生かしていくべきかを、一人ひとり真剣に考えていく必要があります。そして、周りのメンバーは、その思いをどこまで尊重し応援していくことが

出来るか、が問われています。まさに「共に育つ」形。相互に尊重していきたいものです。

(2)他者を決して貶めない

新聞の社会面(三面記事)

三面記事といわれる新聞の社会面を見ますと、「犯罪」や「不祥事」の記事にあふれています。殺人や傷害・暴行・強盗・詐欺・いじめ…。

こうした記事を見るにつけても、「自分のことしか考えない」「怒りを統御できない」「善悪の判断がマヒしている」ことが、どれだけ周りに悪影響を与えるか、想像するに余りあります。そして、どの案件にも共通するのが、いずれも「他者を貶めること極まりない所業」であり、そして結果として確実に自らを貶めていることです。

5/26 廣瀨 泰久